

平成30年度 園の自己評価

南ヶ丘こども園

保育理念	「自分が好き」「人が好き」「笑顔が好き」 たくさんの“好き”の気持ちがあふれる場所関わる全ての人の“生きる力”をはぐくみます。			
保育目標	きちんとした生活、元気なからだ、ゆたかな心 ・身の回りの事がきちんと自分でできる！ ・見てて見てて！できた！またやりたい！の達成感を育てます。 ・安全や清潔に気を付けて健康で心地よい生活ができるようにする ・絵本の読み聞かせの充実 ・背筋を伸ばして姿勢よく座る ・安田式遊具の取り組み			
中期目標		本年度の重点目標		
①組織体制の整備 ②人財育成・確保体制及び、育成校との連携 ③学生対象、保育体験、保育ボランティアの受け入れ ④課外教室の導入 介護空き教室の活用 ⑤キャリアパスをイメージした研修体制		法人 ①社会福祉法人としての公益的な活動の推進 ②生活困窮者への支援体制の整備及び基金への拠出 大阪しあわせネットワークとの連携 ③労働環境の改善		
自己評価(保育の計画・健康及び安全・職員の資質向上と自己評価)の3領域				
領域	評価の視点	評価項目	達成状況	今年度の状況
保育の計画	(1) 保育課程の編成	保育所保育指針、幼稚園教育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	A	・小学校までに身につけておきたい10の姿を意識して保育を進めています。
	(2) 指導計画の作成と展開	長期・短期計画の作成	B	長期、短期計画の区別が少し弱いとおもわれる。
		生活の連続性・子どもの姿を考慮	A	日々積み重ねの経験を大切に、育ちを見守る姿勢ができています
	(3) 発達過程に応じた保育	未満児への個別計画	A	一人一人に寄り添いながら、次の課題を見つけて成長を見守る
		幼児への共同的な活動の促し	A	「友だちと一緒に楽しい。」を意識して環境を作る
	(4) 特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ	B	他者との比較にならず、視点を変えた計画ができています。
		保護者との連携	A	保護者とは、定期的に懇談を行う。
	(5) 関係機関との連携	関係校区、小学校との連携	B	小学校とは、就学前の申し送りでの連携はできている。が交流などは、少ない。
地域の関係機関との連携		B	定期的に相談、報告をしあう。	
健康及び安全	(1) 子どもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	A	看護師が中心となって日々の健康チェックを行い疾病情報をていきょうしている。
	(2) 環境及び衛生管理・安全管理	設備・用具などの衛生管理	A	
		安全点検・避難訓練等の実施	A	毎月1日は、安全点検を行い、避難訓練も毎月実施した。
	(3) 食育の推進	食育計画の作成と実践	A	栄養士が中心になって食育計画を立て実践した。
アレルギーなどへの対応		A	アレルギー児の献立相談を行い連携している。	
職員 の 資 質 向 上	(1) 施設長の責務	法令順守・職員指導・研修への促し	A	年間通して研修会の企画、促しをし、職員の資質向上に努める。
	(2) 自己研鑽	研修等への積極的な参加	A	研修計画に基づき、各自自己研鑽に努める。
	(3) 目標管理	一年間の目標設定と振り返り	B	個人の目標を掲げそれを達成するために努力する。

達成状況 A:良好 B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善 (評価)